

3

平成26年度行政評価および
市民評価を実施

Evaluation

何を実施したかではなく、限られた財源・人員でより大きな効果を得ること、また、事業の課題解決に向けて継続的に事務改善を行っていくことを目的に、田原市では毎年度、行政評価を実施しています。

◆平成26年度行政評価
(平成25年度実施事業)

実施事業を**妥当性・有効性・効率性**の3点から評価しました。

また、評価を行った事務事業について、平成25年度中の取り組み結果を評価する**事業改善効果評価**を行いました。

●**妥当性評価**

公的関与の必要性や市民ニーズ・社会動向を踏まえて、必要性が高い事業かどうか、また、事業の対象は適正かどうかを評価しています。

●**有効性評価**

事業の目的達成に向けた業務内容や実施手段となっているか、また成果が上がっているかどうかを評価しています。

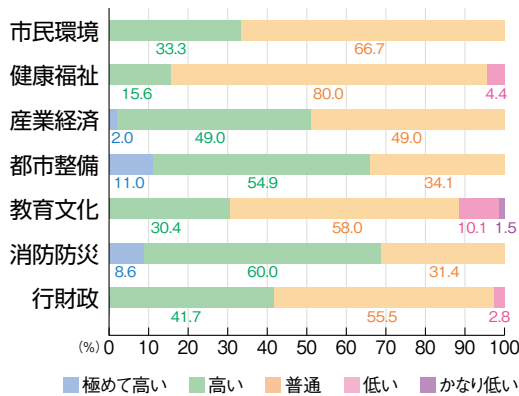
●**効率性評価**

事業の重要性や業務量に対し、コスト(事業費・人件費)の投入量が適正か、また、最少のコストで最大の効果が生み出せたかどうかを評価しています。

●**事業改善効果評価**

評価を行った事務事業について、事業の課題解決に向け平成25年度中に実施した取り組みの結果、事業改善効果がどの程度あったかを評価しています。

●**事業改善効果評価**



事業改善効果の評価が低い事業については、取り組み内容の見直しを検討する必要があります。

高齢者の中で、施設への移動手段がない人の利便性を高めるため、渥美地区を巡回する送迎バスの運営管理を行う。

■**評価の低かった事業**
医師確保修学資金等貸与事業／特定健康診査等事業／巡回バス運営

●**課題解決に向けた平成26年度の取り組み**
利用者へのアンケートを実施

事業／介護職員初任者研修事業／教育委員会運営事務／単独調理校給食運営事業／専門学校地域貢献連携事業／社会教育団体活動支援事業／スポーツ普及員育成事業／体育協会活動支援事業／スポーツ少年団活動支援事業／子ども会連絡協議会活動支援事業／行政評価推進事務

ライフレンドの利用者を増やすため、欲しい設備などを聞き取り、要望に応じ、卓球台、姿見、マッサージ機などを設置しました。

今回は、巡回バス運営事業を取り上げ、どう改善していくかをご紹介します。

巡回バスは有効な手段ではあるが、利用者数が年々減少しているため、10月1日から37人乗り中型バスから14人乗りワゴンに車両を変更し、効率的な運行を図ります。

◆**あつみライフレンド 巡回バス運営事業**
目的
あつみライフレンドを利用する高

その他の事業についても、より効果的・効率的な行財政運営のため、今回の行政評価結果に基づいて、課題解決や事務改善に取り組んでいきます。



※詳しくは、市ホームページをご覧ください。
▼政策推進課 ☎23局3507
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>